

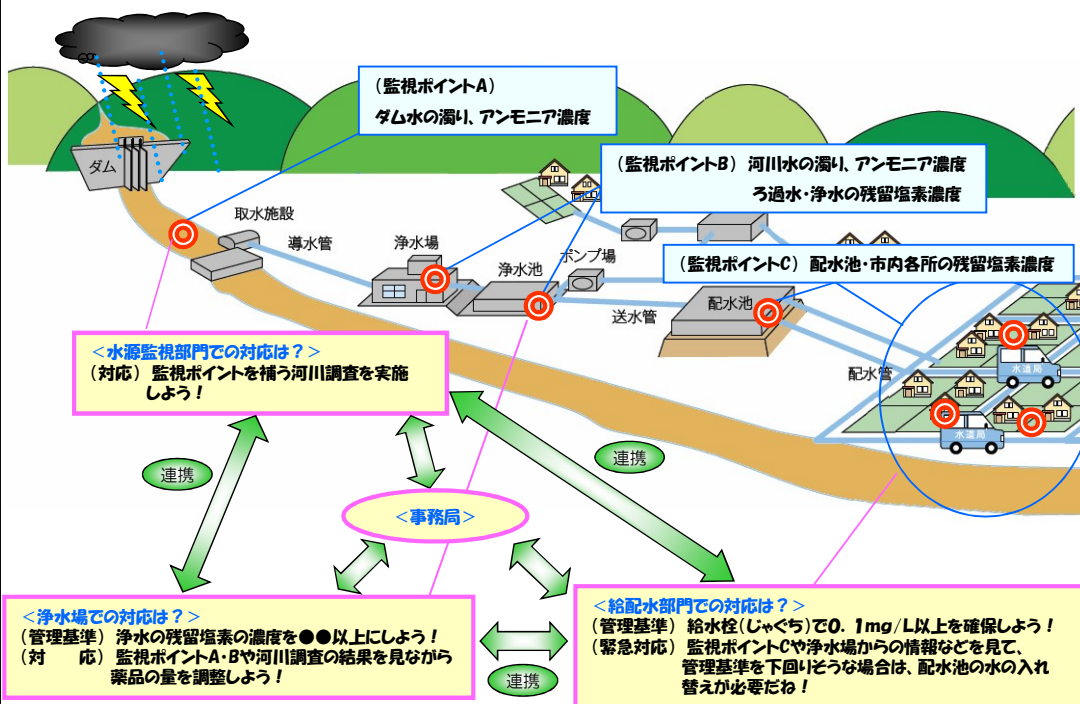
### 3. リスクへの対応の例

台風上陸！ 河川の水量が増えて、すごく濁ってる！

↓↓↓

残留塩素を減らす「濁り」「アンモニア」などが河川水で増加するため  
水道水の残留塩素濃度が下がるかもしれないぞ！（※解説）

（※解説）水を塩素で消毒すると、水の中に微量の塩素が残ります。これを残留塩素といい、「水道法」では、水道水はじゃぐちから出る時点で0.1mg/L以上の残留塩素を保持することが定められています。

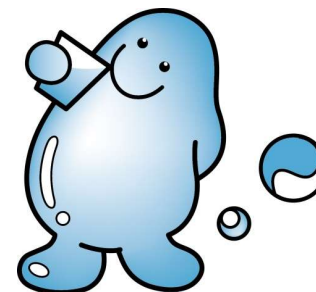


リスクの発生・影響を確認するための監視ポイントや、各部門の対応を整理した危害対応シートを作成し、それを基に実務マニュアルを充実させておくことで、より迅速・的確な対応が可能になるんだね！



## 札幌水道 水安全計画 （概要版）

～安全でおいしい水道水を将来の世代まで供給し続けるために～



札幌市水道局

【お問合せ先】

札幌市水道局施設管理課

〒060-0041 札幌市中央区大通1丁目23番地

電話 011-211-7065 FAX 011-231-2773

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/suido/>

# 1. 水道水の安全性をさらに追求するために・・・

## 「蛇口をひねればいつでも安全で、おいしい水が飲める」

これは簡単なことに思えますが、実はとても大変なことです。

水道水を皆さまのご家庭にお届けするまでには、水道水のもととなる河川の水を浄水場できれいにし、それを配水池に貯めて、水道管で送りますが、これらの過程には水道水の安全をおびやかすさまざまな危害（リスク）があります。

今まで以上に安全でおいしい水道水を安定して供給するため、これらのリスクを分析して、水道全体での必要な対応などをとりまとめた計画が「水安全計画」です。

### <危害(リスク)って何？>

- ・大雨で河川が濁った！ ⇒ 水道水の残留塩素濃度が低下する？
  - ・油が河川に流入した！ ⇒ 水道水に油の臭いがつく？
  - ・水道管が破損した！ ⇒ 管内の水の流れが変わって水道水が濁る？
- など、自然災害や事故などが水道水に影響を与えるおそれのこをいいます。



河川の濁り



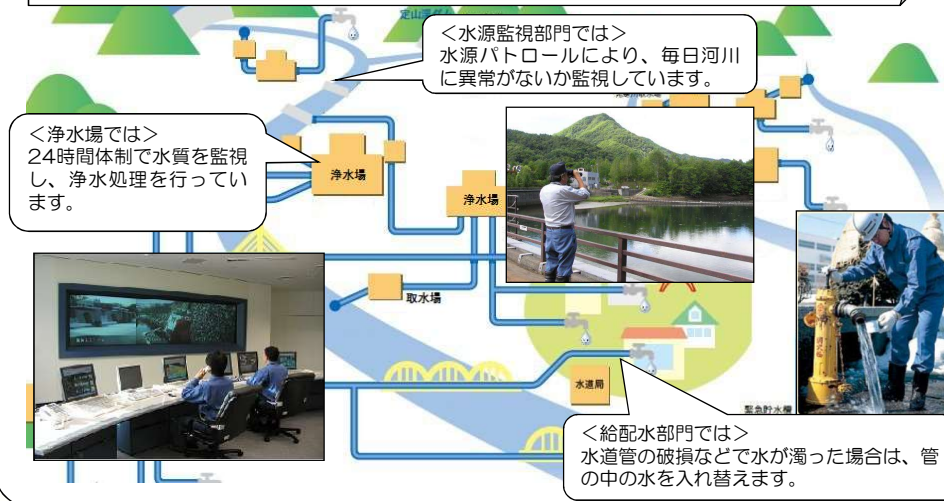
河川への油の流入



水道管の破損

## 今までの水質管理の取り組み

各部門それぞれの取り組みにより、今までも安全な水を供給してきました



「水安全計画」により、さらなる安全性の向上を図っていきます！

## 2. 水安全計画って？

「水安全計画」は、市民の皆さまにおいしい水道水を安心して飲んでいただけるよう、安全な水の供給を確実にする仕組み（マネジメントシステム）を構築するものです。

### 水安全計画の主要要素

#### 危害（リスク）の洗い出しと分析

過去の水質事故事例などから、水道水の安全をおびやかす可能性のあるリスクを洗い出し、影響などを分析します。

#### 危害対応シートの作成

特に対応が必要となるリスクについて、基本事項や対応、予防保全策などをまとめた「危害対応シート」を作成し、これを基に各部門の実務マニュアルの充実を図ります。

#### 継続的な見直し

PDCAサイクルを用いたマネジメントシステムにより、継続的に計画や対応の見直し・改定を行い、水道水の信頼度をさらに向上させます。

予防保全策の実施により、水道水への影響を未然に防ぎます。  
リスクの影響を認識し、あらかじめ関係部門で必要となる対応方法を決めておくことで、リスクが発生した場合には、各部門の連携が強化され、より迅速・的確な対応をとることができます。



### <水安全計画は、こんな効果を生み出します！>

1. 安全性の向上  
水源から給水栓までの間に存在するリスクに対する安全性が向上します。
2. おいしい水の供給  
きめ細やかな水質監視と、水質の状況に応じた浄水処理を連携して行うことにより、おいしい水の供給につなげることができます。
3. 技術力の維持・向上  
対応方法のマニュアル化や継続的な見直しにより、高い技術力を維持し、さらに高めていくことができます。

